

令和5年度 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 大分県の事例（2021年度～）

<取組の内容>

【実施体制の整備】

- 県内の「地域若者サポートステーション」、「ジョブカフェ」、「ハローワーク」と教育委員会、知事部局等が連携して実施体制を整備するとともに、高等学校内に学習相談窓口の設置や、NPOを活用した学習支援も実施。

【学習相談・学習支援の実施】

- 「おおいた学びのステップアップ協議会」を年3回開催することで、関係機関との情報共有を図り、連携の在り方や効果的な利用者の捕捉に関する議論を行い学習相談・学習支援に活用。
- 認定NPO法人「地域の宝育成支援センター」と連携し、大分市内4か所の教室と中津市・津久見市で利用者の希望や事情に応じた進路相談・学習指導を実施。（※大分市以外の教室を今年度新たに開設）
- 個別指導を行うことで相談者の希望や習熟度に応じた支援を実施。また、利用者の交通費等の軽減のため、web会議システムやSNSを活用した指導体制を整備。

【広報の取組】

- チラシ・ポスターを作成し、若者が立ち寄りやすいコンビニや自動車学校、高等学校や中学校に設置。また、県の広報紙や広報番組、新聞の広告欄を活用し、「学び直し支援」の取組や利用者募集の案内を紹介。

<取組の成果>

- のべ230名以上が事業を利用し、13名が高卒認定試験に合格を果たした。（科目合格を含む）

<今後の取組>

- 利用者の交通アクセス等に課題があるため、訪問型での実施やSNSの活用、サテライト会場の充実等を目指す。
- 高等学校等で事業の周知を行うことで認知度向上を図り、高校中退前に対象者に関する情報の捕捉を行う。
- 関係機関との連携体制を強化し、日常的に情報交換できる環境を整備するとともに、高卒認定試験合格後の就職や進学に対応できる仕組み作りも促進する。